

ICカードを活用した相互学習型環境学習の研究

静岡大学塩田研究室・NPO法人里山を考える会



本研究の目的

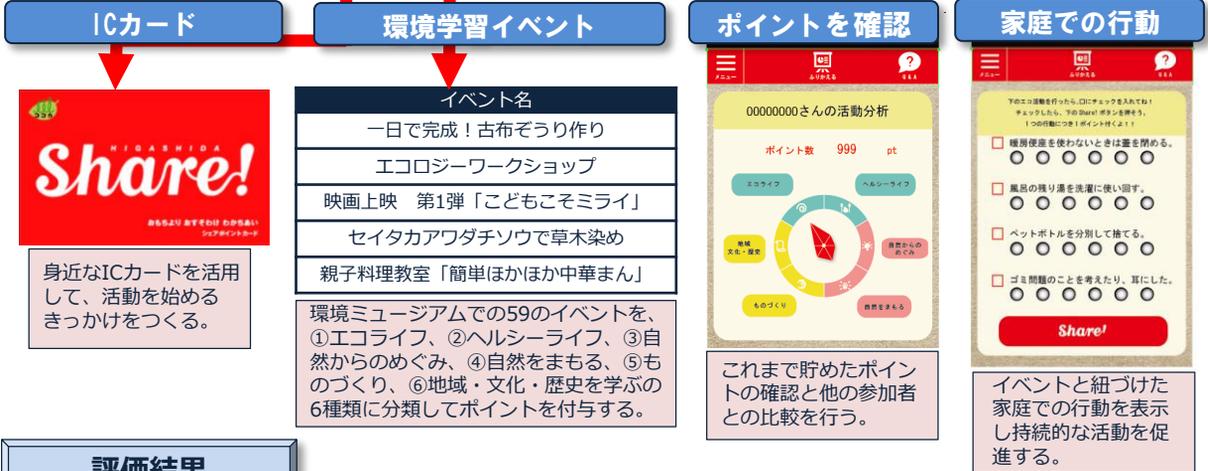
環境学習において施設での学習やイベントへの参加といったことで学んだことを「知識」としてではなく、家庭や実際の生活の中で「行動」として実践することを目的とする。北九州市環境ミュージアムが主催する環境学習イベントにおいて学んだことを、家庭で実施したかを把握し、**持続的な活動となったかをレベル付け**することで、学習プログラムの有効性について確認する。



評価レベルの設定

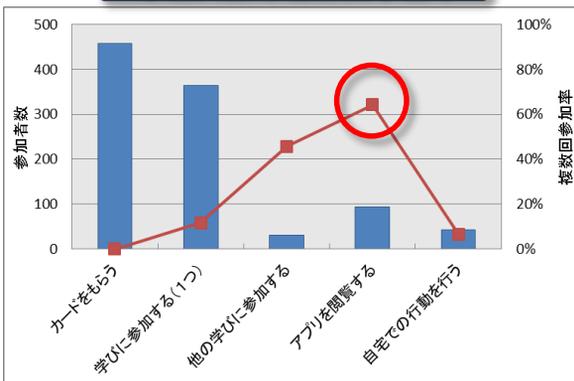
項目	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
ICカードをもらう	○	○	○	○	○
イベントに参加する(1つ)		○	○	○	○
他のイベントに参加する			○	○	○
ポイントを確認する				○	○
家庭での行動を行う					○

今までの環境学習は単発なイベントでの学習に終わってしまうものが多かった。これに対して、ポイントを貯めながら楽しく学習して、WEBページでポイントの確認・家庭での持続的な行動に繋げる。

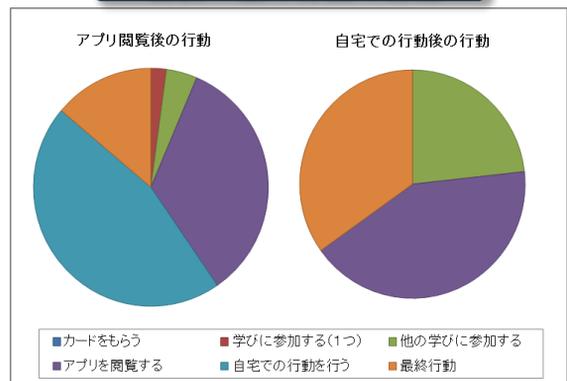


評価結果

参加人数と複数回参加率



直前・後の行動の把握



- ・ポイント確認の複数回参加率は62%となり繰り返しの行動の促進に貢献している。
- ・確認後の家庭での行動の実施率は48%となり、一定の割合で自宅での行動に繋がっている。
- ・家庭での行動の後に23%が他の学びに参加し「学び→行動→学び」のサイクルを達成している。